

2020 年度実施概要

学校名

阪南市立下荘小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名(時間)	学年	教科
1. 海って楽しいな(6)	1	生活 図画工作
2. 海って楽しいな(6)	2	生活 図画工作
3. 大阪湾の生き物(8)	3	社会、理科、総合
4. 海洋ごみを減らそう!(13)	4	国語、社会、理科、総合
5. わたしたちの里海を守ろう(35)	5	国語、社会、理科、総合、家庭科
6. 里海からつながる大阪湾(10)	6	国語、社会、理科、総合

取り組みの概要

本年度から、全学年において海洋教育に取り組み、西鳥取小学校、舞小学校、尾崎小学校と連携・交流し、地域の下荘漁業協同組合や NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター、NPO 法人環境教育技術振興会と協働して取組を実施した。

第1学年(生活科、図画工作)

- ①校区の里海で、海の美しさを知り、海辺観察と生き物観察をして、海に親しむ。【写真1】
- ②季節による植物や動物の変化に気づき、見つける。
- ③夏の海をテーマに絵を描く。

第2学年(生活科、図画工作)

- ①校区の里海で、海の美しさを知り、海辺観察と生き物観察をして、海に親しむ。【写真2】
- ②下荘漁業の方に協力を得て、地引網体験をする。獲れた魚を捌き、命の大切さを知る。
- ③季節による植物や動物の変化に気づき、見つける。
- ④里海の自然海岸で拾った石に海に関する絵を描く。

第3学年(総合、社会)

- ①NPO法人の外部講師から、里海や大阪湾の現状を学習する。【写真3】
- ②下荘漁業の方に協力を得て、地引網体験をする。獲れた魚を捌き、命の大切さを知る。【写真4】
- ③NPO法人の外部講師から、大阪湾でよく獲れる魚や特徴ある魚などの話を聞く。チリメンモンスター探しを行い、稚魚観察をする。
- ④海草押し葉作りを行い、海草のつくりや役割に興味をもつ。

第4学年（総合、国語、社会、理科、図画工作）

- ①NPO法人の外部講師から、里海や大阪湾の現状を学習する。
- ②下荘漁業の方に協力を得て、地引網体験をする。獲れた魚を捌き、命の大切さを知る。【写真5】
- ③NPO法人の外部講師から、海洋ゴミの現状や減らすと取り組みについて調べ学習をして発表する。【写真6】
- ④NPO法人の外部講師から、大阪湾でよく獲れる魚や特徴ある魚などの話を聞く。チリメンモンスター探しを行い、稚魚観察をする。
- ⑤海藻おし葉作りを行い、海藻のつくりや役割に興味をもつ。

第5学年（総合、社会、理科、図画工作、家庭科）

- ①アマモについての聞き取り学習（6月）
 - ・地域で活動している NPO 法人の外部講師から大阪湾のアマモについて学習する。
 - ・アマモの特徴、生態、生育場所、アマモの群落が様々な生物が棲む一種の魚礁としての役割があること、アマモ場の面積減少には人間の経済活動による水質悪化などが大きく関わることを知る。
- ②アマモ苗植え・生き物観察（6月）
 - ・前年度に活動して育てたアマモの苗を海に植える。
 - ・生き物観察を行う。
 - ・地引網を行う。
 - ・海岸の清掃活動をする。
- ③アマモの花枝の採取（6月）
 - ・アマモの花枝を採取して漁港で養生する。
 - ・生き物観察を行う。
 - ・海岸の清掃活動をする。
- ④アマモの種子の選別（9月）【写真7】
 - ・花枝から採取した種子を観察する。
- ⑤アマモの生態調査（9月）
 - ・アマモの生態やアマモ場の機能、再生技術などについて調べる。
 - ・海洋プラスチックごみによる被害や環境に優しい取組などについて調べる。
- ⑥水産技術センターでの学習（11月）
 - ・大阪湾の環境の保全・改善を研究していることや大阪湾の豊かな環境を守るために行っている稚魚の育成や放流等について学習する。
 - ・社会科で学習している栽培漁業について、現場で働いている方から聞き書きを行う。
- ⑦アマモの苗を育てる（11月）
 - ・アマモの種を土に植える。育成キットでアマモを発芽させ、アマモの苗の生長を観察・記録する。【写真8】
- ⑧アマモ育成に取り組む他府県の様子、アマモやワカメの役割、地球温暖化の原因や仕組み、海洋プラスチックごみを減らす方法を知り、各自、さらに興味を持ったことについて調べ学習をして分かったことをまとめる。（11～12月）
- ⑨ワカメの種付け（12月）
 - ・下荘漁協と連携し、ワカメの種系付けをする。【写真9】
 - ・海藻の役割や種類について学習する。

⑩ワカメの収穫と調理実習(2月)

- ・ワカメを収穫し自分たちで調理して食べることで、陸と海との栄養や生命の循環を学ぶ。【写真10】
- ・塩蔵ワカメの作り方を学び、養殖から加工までの一連のつながりを体験することで海を地域産業とのつながりを学ぶ。

⑪4校海洋教育実践報告会(2月)

- ・今までの活動をテーマごとにまとめる。
- ・西鳥取小、舞小、尾崎小と模造紙を巡回し、学習活動報告をする。

⑫自分たちができることを考える(海岸の清掃活動、アマモや海藻の役割を発表する等)。

- ・次の学年に引き継ぐ準備をする。

第6学年(総合、社会、理科)

①NPO法人の外部講師から、海洋ゴミやわたしたちが生きる地球は循環していることを学習する。【写真11】

②空気中の気体の成分を知り、二酸化炭素のはたらきや地球温暖化のしくみを学習する。

③動植物プランクトンを顕微鏡で観察し、体のつくりやはたらきを学習する。

④海岸清掃を行い、ごみの種類や量を調べる。【写真12】

⑤地球環境について調べ学習を行い、まとめる。

活動写真

【写真1】1年生 海辺観察



【写真2】2年生 海辺観察



【写真3】3年生 大阪湾の現状を知る。



【写真4】3年生 チリメンモンスター探し



【写真5】4年生 下荘漁業の方からの食育



【写真6】4年生 調べ学習発表



【写真7】5年生 アマモの種子選別



【写真8】5年生 アマモの種植え



【写真9】5年生 ワカメの種つけ



【写真10】ワカメの収穫



【写真11】6年生 海洋ゴミの話



【写真12】6年生 海岸清掃

